

外国語科(英語Ⅰ)学習指導案

The First “Haircut” in Six Years
(高等学校 第1学年)
神奈川県立総合教育センター



【『平成 20 年度研究指定校共同研究事業(高等学校)授業改善の組織的な取組に向けて』
平成 21 年 3 月】

平成 20 年度研究指定校である大井高等学校において、授業改善に向けた組織的な取組として授業実践を行った学習指導案です。

生徒の理解度に合わせた丁寧な授業展開を目指す一方、学習内容を精選することで生徒に達成感をもたせ、学習への興味・関心を高める学習指導を行いました。

大井高等学校「英語」学習指導案

1 学年 第1学年

2 科目名 英語

3 単元名(教科書名) L.8 The First “Haircut” in Six Years (文英堂「NEW EDITION Surfing ENGLISH COURSE I」)

4 単元の目標

- ・新出単語・表現などを理解し、正しいスペリングや意味を覚えようとして、積極的に読んだり書いたりする。
- ・学習した英文を音読したり、暗唱したりする。
- ・本文の内容を正しくつかむことができる。
- ・学習した文法や単語を理解したり、覚えたりする。
- ・ニュージーランドの文化に興味をもち、理解する。

5 単元について

教材観・題材観

ここで扱っている国は英語圏ではあるが、生徒には身近な国とは言えない。しかし、動物を題材にしたほのぼのとした、興味をひく内容である。文法事項(動名詞・第4文型)は生徒には難しい。

生徒観(生徒の状況)

英語に関して、基礎的な内容を十分に身に付けていない生徒が多く、文法や文構造に対する理解度は高くない。作業的な活動に真剣に取り組む生徒が多い。

指導観(主な支援)

時間を掛けて丁寧に指導し、焦らずに、達成感をもたせる。作業の時間を設けて、生徒への声掛けに気を配り質問に丁寧に対応する。

6 解決を目指す課題

十分な学習活動を行うために、単語を中心に基本的な英語の力を身に付けさせることと、生徒に集中力を持続させることが課題である。

7 課題解決の方法

生徒の理解度に合わせた丁寧な授業展開をし、発音練習・単語練習を繰り返し取り入れる。生徒たちの集中力が途切れないように、時間を区切った展開をする。学習内容を精選し、その中で達成感をもたせ、学習への興味・関心を高める。

8 課題解決の状況を確認する方法

テスト(復習テスト・定期テスト)、提出プリント、アンケート(事前・事後)の内容

9 単元の指導と評価の計画

(1) 単元の時間数 5 時間扱い

(2) 単元の評価規準

| 関心・意欲・態度 | 表現の能力 | 理解の能力 | 知識・理解 |
|------------------------------|----------------------------|----------------------|---|
| 単語の正しいスペリングや意味を意欲的に書こうとしている。 | レッスンに出てきた英語を正しく音読することができる。 | 本文の内容を正しく読み取ることができる。 | 新出単語や熟語などの学習した知識を身に付けている。 ニュージーランドの文化について理解している。 |

(3) 指導と評価の計画

| 時 | 学習内容 | 指導内容 | 評価規準 【評価の観点】 | 評価方法 |
|-----------|--|---|---|----------------------|
| 1 | Before You Read ニュージーランドの特徴と風土について学ぶ。 Part1 の新出単語の意味を教科書で調べる。 発音を聞いて単語を書く。 発音の練習を全体・個人でする。 | ニュージーランドについて生徒が知っていることを質問等により引き出し、また、ニュージーランドについての基本的な知識を与える。 単語の意味を調べさせる。 発音を聞かせ確認させる。 | ニュージーランドの文化について理解している。 【知識・理解】 | 生徒の活動の観察 |
| 2 | Part1 の英文をプリントに筆記する。 訳をプリントに書く。 音読練習を全体・個人でする。 | 熟語や文法に言及しつつ、本文の訳をする。 全体・個人で音読練習をさせる。 | 本文の内容を正しく読み取ることができる。 【理解の能力】 | 生徒の活動の観察、ワークシートのチェック |
| 3 (本時) | Part2 の新出単語について 1 時間目と同じ活動を行う。 Part2 の英文をプリントに筆記する。 訳をプリントに書く。 | 1 時間目と同様の指導を行う。 本文をプリントに筆記させる。 訳を考えさせる。 | 単語の正しいスペリングや意味を意欲的に書こうとしている。 【関心・意欲・態度】 本文の内容を正しく読み取ることができる。 【理解の能力】 | 生徒の活動の観察、ワークシートのチェック |
| 4 | Part2 の本文訳をプリントに書く。 音読練習を全体・個人でする。 After You Read 教科書の練習問題を解く。 | 熟語や文法に言及しつつ、本文の訳をする。 音読練習を全体・個人でさせる。 教科書の練習問題をさせる。 | 正しいリズムやイントネーションで音読できる。 【表現の能力】 | 生徒の活動の観察 |

| | | | | |
|---|------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|-------------|
| 5 | 復習プリントに取り組む。 キーセンテンスの暗唱をする。 | 復習プリントに取り組ませる。 暗唱練習をし、発表させる。 | 新出単語や熟語の基本的な知識を身に付けている。 【知識・理解】 | ワークシートのチェック |
|---|------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|-------------|

(4) 観点別評価について

指導と評価の計画に記載した評価規準の一部について、「十分満足できる」状況(A)と判断した具体的状況例と、「努力を要する」状況(C)と評価した生徒への手だてを記載した。評価規準の(時)は指導と評価の計画にある「時」とした。

【関心・意欲・態度】

| | |
|---------------------------|---|
| 学習活動における具体的評価規準(3時) | 単語の正しいスペリングや意味を意欲的に書こうとしている。 |
| 「十分満足できる」状況(A)と判断した具体的状況例 | 常に積極的に書こうとしている。 |
| 「努力を要する」状況(C)と評価した生徒への手だて | 単語の正しいスペリングや意味を調べさせたり説明したりするなど必要な個別指導を行う。 |

【表現の能力】

| | |
|---------------------------|--|
| 学習活動における具体的評価規準(4時) | 正しいリズムやイントネーションで音読できる。 |
| 「十分満足できる」状況(A)と判断した具体的状況例 | 常に正しく音読できる。 |
| 「努力を要する」状況(C)と評価した生徒への手だて | 正しいリズムやイントネーションについて補足説明するなど必要な個別指導を行う。 |

【理解の能力】

| | |
|---------------------------|---------------------------------------|
| 学習活動における具体的評価規準(3時) | 本文の内容を正しく読み取ることができる。 |
| 「十分満足できる」状況(A)と判断した具体的状況例 | 常に正確に読み取ることができる。 |
| 「努力を要する」状況(C)と評価した生徒への手だて | 単語や文構造についての内容理解を助ける説明をするなど必要な個別指導を行う。 |

【知識・理解】

| | |
|---------------------------|-------------------------|
| 学習活動における具体的評価規準(5時) | 新出単語や熟語の基本的な知識を身に付けている。 |
| 「十分満足できる」状況(A)と判断した具体的状況例 | 新出単語や熟語の確実な定着が認められる。 |
| 「努力を要する」状況(C)と評価した生徒への手だて | 説明を繰り返したり補足説明を加えたりする。 |

10 本時の展開（単元の 3 時間目）

(1) 本時の目標 単語力の増強

(2) 本時の指導過程

| 過程 | 学習活動 | 指導内容 | 指導上の留意点 | 評価規準【評価観点】(評価方法) |
|-----------------|---|--|---|--|
| 0～5分 (5分) | 単語テストを受ける。 正答を単語集で各自確認する。 次回のテスト範囲を確認する。 | | | |
| 5～8分 (3分) | 返却された Part1 のプリントと配付された Part 2 のプリントを確認する。 | Part 1 のプリントの返却をする。 Part 2 のプリントを配付する。 | 評価を確認させる。 | |
| 8～32分 (24分) | 新出単語のスペリングと意味をプリントに書く。 発音をカタカナで書く。 アクセントのある位置に印をつける。 全員で教師の後について発音練習する。 指名された生徒は発音する。 | 新出単語のスペリングと意味を丁寧にプリントに書かせる。 教師が発音し、カタカナで黒板に書く。 アクセントの位置を黒板に書く。 数人を指名し発音させる。 | 書き方、調べ方を指示する。 黒板で発音を確認させる。 発声を促す。 | 単語の正しいスペリングや意味を意欲的に書こうとしている。 【関心・意欲・態度】 (生徒の活動の観察、ワークシートのチェック) |
| 32～50分 (18分) | 本文をプリントに書く。 本文の訳を考えプリントに書く。 | 本文の訳を考えプリントに書くよう指示する。 | 新出単語や文の意味を考えながら書くよう指示する。 質問や相談を積極的に行うよう指示する。 | 本文の内容を正しく読み取ることができる。 【理解の能力】 (ワークシートのチェック) |

11 解決を目指した課題の解決の状況

授業後に実施したアンケートの「講義や説明、先生の質問や板書が分かりやすかった」という項目に対して、全員の生徒が「とてもそう思う」または「だいたいそう思う」という肯定的な回答をしてきた。プリントの工夫、いろいろな作業や活動を通して分かりやすい授業を実践することで、生徒の達成感を高めることができた。また、「教材に興味をもて、プリントが取り組みやすかった」という項目について、「とてもそう思う」と「だいたいそう思う」の合計の割合は 96% だった。提出されたプリントも、丁寧な取組がなされていた。また、同じ率の生徒が「授業に集中することができた」という項目について、「とてもそう思う」または「だいたいそう思う」と回答しており、学習内容を精選したことによって興味・関心を高め、集中力を持続させることができたと言える。

12 月に実施した期末テストについては、平均点がそれまでに比べて大幅に上がるということではなかった。しかし、単語を記述する設問については、すべて空欄で出すような生徒はいなくなり、前向きに取り組もうという姿勢が見られるようになった。

12 授業実践に関する成果と課題

計画どおり、落ち着いた雰囲気生徒たちが取り組んでいた。授業の流れになじんでいるため、単語調べ・本文写し・日本語訳とスムーズに取り組んでいた。単語調べ・本文写しなどに掛かる時間は、生徒の取組により差があるので、時間に余裕のある生徒への対策が必要である。自分たちで調べよう、日本語に直してみようという積極的な態度が日ごろの授業で培われてきている。

今後に向けた課題としては、発音をカタカナで板書し、アクセントも目立つように板書している点は良かったが、カタカナを読むのではなく、単語のスペリングを見て正しい発音ができるような練習をする必要がある。また、英語の音声を聞いて発音する練習の方法について工夫の余地がある。